

【ねがいましては】

令和5年4月8日

KYOWA SCHOOL

第391号

「今を打破する力」

読売新聞に「地球80億人の時代に」と題して特集がありました。3編に分かれており、そこからわかってきたことです。

地球の歴史を1年とすると、現在の人類の祖先が表れたのが4時間前だそうで、化石燃料を大量消費しはじめた産業革命は、たった1秒前だそうです。その1秒で我々人類は長年かけて作られた地下資源（石油・石炭・天然ガス等）を使い切ってしまう計算になります。

人口はと言えば、西暦元年（今から2023年前）には約3億人いたそうで、約1800年かけて7億人に達し、それから先ほどの1秒の間に80億人、約10倍の人口増になったとありました。

1950年では25億人、2023年には80億人、計算してみました。73年の間に55億人、1年間に約7500万人、1日では約20万人ずつ増えていることになります。

一方日本では少子化が進み、この10年で約116万人減少しています。1年だと11.6万人です。数字ばかりで頭が痛くなりそうですが、地球規模で眺めてみるとあっちもこっちも不安だらけのような気にさせられます。日本は人口減で苦しみ、一方他国では人口増で苦しみ・・・。

さて、だれがこのようなことを予測できたでしょうか。少なくとも日本では外国との付き合いがほとんどなかった明治維新の頃の方々からすると知って驚きだと思います。

そうなんです。だれも先のことは分かっていない・・・。先はこうなるから、そのためにはこうしよう・・・。自然災害への準備はその都度、災害が起こるたびその教訓を生かしながら後世へすこしずつ生かすことはできるでしょうが、人が起こすことについてはまったく予測不可能だといえるかもしれません。

で、この特集、新聞の3編（上・中・下）の下にあったことです。

「日本の土地の値段は上がり続けます」→これはバブル当時の筆者の学校の先生が言っていたこと。しかしバブルがはじけてそのことばは「ウソ」ということになりました。

「世界第二位の経済大国である日本はこの先米国を抜いて一位になるだろう」→その当時筆者が通っていた塾の先生のことばだそうです。やはりバブルがはじけて「ウソ」になりました。それどころか1990年代から2000年代初めにかけて就職氷河期を迎え、国立大学を卒業しながらも就職浪人や非正規の職に就く方が続出しました。

一方です。現在の首都圏事情です。少子化が問題視される中、中学受験者数は過去最高を更新、小学受験も年々増加にあります。ご両親の気持ちもわからぬでもないのですが、「不安定」を肌で感じている方々からすれば早めの学歴獲得という安心感を「親」が受け取りたいのだと思ってしまう。少々偏見あり

この記事を書かれたのは、作家の朝比奈あすかさん。中学受験をテーマにした小説「翼の翼」が有名だそうです。その朝比奈さんが最後に語っていることが、『子どもたちが大人になった時に、想像もできない種類の困難な状況に陥る可能性がある。その時に必要なのは、学歴以上に現状打破力だ。』

なるほどです。打たれ強い精神力です。いつでもどこでなにが起こっても、うろたえることなく冷静に現状を把握し、行動する力です。どうすれば身につけられるのか・・・私の思うこたえです。負けて負けて負け続けて、折れて折れて折れ続けて、それでもなにがなんでも這い上がってやる・・・逃げない前向きな心です。へこたれない心を育むことです。

これは私の長期にわたる子どもたちとの触れ合いから感じることなのですが、子どもたちは学校生活の中で何かに取り組み際、徐々に『どうしよう』を浮かべやすくなっていく。それがいつのまにか『あたりまえ』の感情へと育つ。身の危険がある場合の『どうしよう』は当然のことだと思います。たとえば水泳です。まだ満足に泳げない状態の時、足の届かないところへ連れていかれそうになった時、きっと『どうしよう』はごく当たり前の感情になります。しかしそれは勉強の世界には必要ありません。これでぼくはこの世からいなくなる・・・ことはありません。しかし子どもたちは入学時よりテストを重ねるにつれて、「テストの点がわるかったらどうしよう」を想像するようになります。あわせてほとんどの子の脳裏に「ある人」が浮かび上がるようになります。「しかられる」「何か言われる」・・・その対象となる方は誰でしょう。

その結果、現状打破力とは程遠い感情へと子どもたちは覆われていきます。その感情へと追い込んでいく方々が「ある人」になります。しかし現状打破力をストレートに植えつけることの出来る方も実は「ある人」なのかもしれません。だれでしょう。子に一番近い距離にいらっしゃる方です。

私は子どもたちに言い続けます。「人らしい『ひと』って、本物の『ひと』の姿ってどういうときかな。テストで100点取った人？ それとも登校途中、雨の中震えながら泣いていた子猫をそっと抱きかかえ、遅刻覚悟で動物病院へ連れて行ってあげることの出来るひと？」それでついた遅刻1回、その子にとっては勲章です。子猫にとっては命の恩人です。「ある人」をお願いします。そんなとき、思いきり抱き締めてあげてください。強くなろうね。現状打破！